

鳥坂神社拝殿＝橿原市鳥屋町で

やまとの神さま

鳥坂神社（橿原市）



築坂邑伝承地に鎮座

鳥坂神社は橿原市と高取町の境界の貝吹山から北に伸びる丘陵近くの鳥屋町に鎮座しています。

近鉄橿原神宮前駅西口から県道を西に進むと、鳥屋集落の入口に「築坂邑伝承地」の碑があります。「日本書紀」によると、橿原宮に即位した神武天皇に日向から付き従い、神武東征で活躍した道臣命（大伴氏の祖）は築坂邑に宅地を与えられたとされます。現在の鳥屋町一帯といわれます。

元は高皇産霊命と大伴氏の始祖の天押日命を祭ったのが始まりと考えられています。室町時代の「五郡神社記」では大伴神社とも呼ばれました。明治以降に祭神は伊勢神宮外宮の祭神である豊受比咩命となりました。

近くには陵墓とされている宣化天皇陵の身狭桃花鳥坂上陵や倭彦命の身狭桃花鳥坂墓があります。築坂は桃花鳥坂とも書かれ、社名の鳥坂は桃花が略されたものと考えられます。桃花鳥とはかつて全国で生息した朱鷺のことで、「トキ」がなまって「ツキ」になったと言われ、二つの陵墓の名称に「ツキサカ」の地名が残っています。朱鷺の羽の色を可憐な桃の花に見立てた古代人の感性の豊かさが伝わります。

社殿は高台に位置し、境内からはふもとに神武天皇陵がある畝傍山がきれいに望めます。

（奈良まほろばソムリエの会会員　森川祐美）

（住所）橿原市鳥屋町17の1
（祭神）豊受比咩命
（交通）近鉄橿原神宮前駅から徒歩約20分
（拝観）境内自由
（駐車場）なし（電話）なし